

教育目標：なかまとともに、進んで学び、たくましく、思いやりのある子どもの育成

細野小学校
学校通信

桜の学び舎 細野小

令和2年度
第5号（9/1発行）

今こそ 一致団結 パワー全開 細野っ子（運動会スローガン）

文責：衛藤慎二

↑のタイトルは、9月20日（日）に実施される細野小学校運動会のスローガンです。今回は、午前中・短縮版での実施になりますが、運動会にかける思いは、これまでの運動会に負けないくらい**パワー全開・笑顔いっぱい**の団長・副団長を紹介します。



第1回親子美化活動 8/30 ←のタイトルは親子ですが、今回は児童の参加を控えています。

永峯事業部長を中心に、多くの保護者の皆様に熱心に作業していただき、おかげで、運動会前の環境整備もバッチリです。当日参加できなかった陸上部・女子バレー部の保護者の皆様の事前奉仕作業、トラック・機材等の御提供等をたくさんの方々の協力のおかげです。感謝の気持ちでいっぱいです。本当に有難うございました。

皆様のおかげで とってもきれいに になりました。感謝・感謝です。



地域を癒し、元気にしてくれた「六月灯の灯籠飾り」「打ち上げ花火」

コロナウイルス感染症防止ため、様々なイベント等が中止になる中、「細野町づくり協議会」の呼びかけで行われた灯籠の飾りつけや「細野青年団」が寄付を募って実施した花火の打ち上げなど、素晴らしい活動が行われています。このような恵まれた環境で教育活動ができることに感謝・感謝です。

【8月9日の花火の打ち上げ】



撮影：木島広報部長

【令和2年7月22日（水）宮崎日日新聞社掲載】
※宮崎日日新聞の転載許可を得て掲載しています。

灯籠 地域癒やす 小林・霧島岑神社



霧島岑神社の参道を照らす六月灯の灯籠

小林市細野の霧島岑神社参道を、地元子どもたちが柄を描いた「六月灯」の灯籠が照らしている。新型コロナウイルスの感染防止のためイベントは中止とな

ったが、例年と変わらぬ光景が地域の人々を癒やしている。25日まで。
同神社の六月灯は例年、出店やステージもあり多くの地元住民でにぎわう。今年はイベントは開催できなかったが、地域団体「細野まちづくり協議会」の呼び掛けに応じた子どもたちが絵を作製し、100個の灯籠が飾られた。
母親と訪れた細野小5年中礼実咲さん(11)は「六月灯がないのは寂しいけど、灯籠がついていてうれい。新型コロナが早くなくなって、家族でまた旅行に行けるよう神社でお願いした」と話した。点灯は午後6～10時。(海老原亨)

1学期後半スタート 8/25

大きなケガや病気もなく、無事1学期後半がスタートでき、本当に幸せです。

これから暑い中での運動会の練習では、「**感染予防**」と「**熱中症対策**」の両立が課題です。

児童には、**呼吸の大切さ**、深呼吸で心を落ち着ける効果等についても話をしました。

感染予防も大切ですが、呼吸が苦しくならないようマスクをはずすタイミングについても、配慮が必要です。

また本県においても、新型コロナウイルスの感染者が急増し、いつだれが感染者になるかもしれないという状況です。不幸にも**感染してしまった人**などへの**優しさ・配慮**などの**人権感覚に敏感**にならなければなりません。学校・地域ぐるみでの「**やさしさの輪**」が広がることを期待しています。

感染予防・偏見差別防止

